

改善プログラムシート

施設の目指す姿	
【施設整備】	設置から23年が経過した現在の園内施設について、市と運営法人とが協力して整備を行ない、入園者が楽しめると同時に、利用者(障がい者)が働きやすい環境を整えることを目指します。
【運営】	リス園は、市と団体とが協力して運営していますが、運営団体が法人化するなど、市の関与のあり方についての転換期にきています。役割分担や財政援助のあり方について明確化することを目指します。
【他施設・他機関との連携の促進】	年間10万人以上という集客力を誇るリス園は、他の観光施設や福祉施設を来園者の方にPRする絶好の場といえることから、リス園が他の観光施設や福祉施設と連携することにより、他施設の集客や収益の増加につなげ、ひいては他施設にも貢献できる施設を目指します。

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
予算等により変更となる場合もあります。

施設名	町田リス園
担当部課名	地域福祉部 障がい福祉課

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	リス園が周辺の観光施設とのコラボレーションが進められるような支援策を創設します	2011年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光施設や福祉施設とのコラボレーションにより、各施設における集客の向上につながる 福祉施設への市民の理解促進と、そこで働く障がい者の意欲の向上につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 年間10万人以上という集客力を誇るリス園は、町田ぼたん園、町田えびね苑、町田ダリア園など周辺の観光施設や福祉施設を来園者の方にPRする絶好の場といえます。 運営団体が、周辺の観光施設とコラボレーションして事業を実施することにより、薬師池一帯の観光客の誘致につなげます。 運営団体が他の福祉施設のPRや製品販売も行うことにより、市民の福祉施設への理解促進と、福祉施設で働く障がい者の意欲向上につなげていきます。
②	今後のリス園の運営や施設整備において、市と運営団体との役割分担について、また市が団体へ財政援助をする位置づけについて、それぞれ明確化を図ります	2012年度	<ul style="list-style-type: none"> 市と団体との役割分担のあり方がより明確化できる 	<ul style="list-style-type: none"> リス園運営は、団体の事業であるということを前提としつつも、設立の経過から市として様々な面で関与してきました。しかし開園から23年が経ち、この間の社会情勢の変化や、団体が法人格を取得したこと、また今後は施設整備の課題もあることから、市が今後担うべき役割について検討し、明確化する時期にきています。 団体への財政援助の位置づけを明確化させることについては、受益者負担の問題と関連して検討します。
③	観光セクションとの連携策として、町田市観光コンベンション協会(以下「協会」)との連携・協力体制を、より一層充実させます	2011年度	<ul style="list-style-type: none"> 町田市の知名度向上につながる リス園としてより一層の集客につながる リス園の来園時に、周辺施設にも立ち寄る機会を増やすことにつながる 	<ul style="list-style-type: none"> リス園と協会との連携は、イベント(「ひまわりプロジェクト」を9月に実施)の共同開催などがありますが、さらなる充実を図ります。 協会がおこなう施設案内業務(案内ブース、ウェブサイト)において、イベント情報などの話題を市民に提供できるよう、リス園から協会へ随時、情報提供ができる仕組みを整えます。 リス園は、薬師池・七国山地域を周遊する際の「東の玄関口」ですが、入園者に向けた同地域の魅力の発信方法を、協会の協力を得ながら進め、同地域での回遊性向上を目指します。

※このシートは、2011年9月時点で考えられたものです。
 予算等により変更となる場合もあります。

施設名 **町田リス園**

担当部課名 **地域福祉部 障がい福祉課**

優先 順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
④	あらゆる世代に向けて、また市内のみならず市外の方へ向けてのPR策の強化を図ります	2011年度から随時着手	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市の知名度向上につながる ・リス園としてより一層の集客につながる ※2011年度入園者目標 :11万人(対前年比同数値) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の方への新たなPR策として、鶴川駅前公共施設の建設現場に広告看板を設置しました。小田急線の車窓から看板を見ることができます。 ・リス園のイベント情報は、現状は市広報に掲載していますが、市ウェブサイト内キッズページにでも掲載していくこととし、メインターゲットである子ども向けのPR強化を図ります。 ・ご高齢の方には「リス園は、都心・都外に行くことなく、身近な地域でお孫さんを連れて気軽に楽しめる」という観点からPRしていきます。そのためのPR策(広告媒体)を今後検討していきます。